

ステップ注入付周波数フィードバック方式

系統の停電を検出してパワーコンディショナを停止させる「単独運転防止機能」は従来メーカー各社が独自に開発・搭載してきました。パワーコンディショナの設置台数・容量の増加に伴い方式ごとの干渉防止と、高低圧混触事故（高圧配電線と低圧配電線が接触し低圧配電線の電圧が上昇すること）の発生に伴う停電時の瞬時停止が求められ、NEDOのプロジェクトで高速かつ非干渉の新しい単独運転検出方式が開発され規格化されました。これが「ステップ注入付周波数フィードバック方式」です。

本方式は系統の周波数変化方向に従ってそれを助長する方向に無効電力を出力する「周波数フィードバック」機能と、系統電圧の振幅変化、高調波変化を監視し、異常を検出した場合に無効電力をステップ的に出力する「ステップ注入」機能により機器ごとの干渉を無くすとともに停電発生時に高速に停止することを可能にしています。

